

◆日本共産党は、大軍拡・大増税許さず、命と暮らしを守る政治実現に全力を尽くします

休日当番病・医院

3月26日(日)

- ◆内科 柴田内科循環器科 71-2225
桜木町
- ◆外科 みらい整形外科クリニック 53-7100
北栄町
- ◆歯科 ささ歯科クリニック 53-8299
沼ノ端中央

診療時間：内科・外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時
本誌は、毎週火曜日に編集します。その後、休日に当番医が
変更になってお知らせすることはできません。
ご利用される際には、あらかじめ電話でお確かめください。

法律相談



4月26日(水)
横山 浩之弁護士

(定員になり次第締め切ります)
日本共産党小牧地区委員会
小牧市見山町2-2-6 申込 56-5002

日本共産党 民主苦小牧

発行 日本共産党小牧地区委員会

小牧市見山町2丁目2番6号 電話 56-5002 fax 56-5086
日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp>
小牧市議会ホームページ <http://toma-jcp.sakura.ne.jp/>
eメールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

ポンコツ武器買っより大きな経済ある福祉拡充を

政治に春をよぶつどい

大門氏がやさしく強い経済講演



世界第3位の軍事大国にな
ってしまっています」と指摘。
そもそも自民党が軍事費の
2倍化を言い出したのは2
021年の総選挙で、ロシ
アのウクライナ侵略の前で
す。「先に2倍化ありき」
で、背景にはアメリカや日
本の軍需産業の要求があ
り、トランプ前米大統領に
よって米国製武器や戦闘機
の爆買いをさせられ続け
ています。「アメリカから買
われているのは、ポンコツ
在庫一掃セールです。事故ば
かり起こしているオスプレイ
は軍需企業の売り上げへの協
力であり、F35戦闘機はレ
ダーに映らないため、攻撃さ
れないが、自分で落ちる欠陥
機です」と指摘しました。

憲法を守り、くらしのなか
に生かそうと30回目を迎えた
「春をよぶ女性のつどい」改
め「政治の春をよぶつどい」
(同実行委員会主催)が18日、
小牧市市民会館で開かれまし
た。日本共産党の大門実紀史
前参議院議員が「カジノミク
スからやさしく強い経済へ」
と題して記念講演しました。

大門氏は、「岸田政権はい
つに軍事大国化を進め、軍
事費を5年で43兆円にする
としています。現行の1.6倍
です。憲法9条をもつ日本が
世界第3位の軍事大国にな
ってしまっています」と指摘。
そもそも自民党が軍事費の
2倍化を言い出したのは2
021年の総選挙で、ロシ
アのウクライナ侵略の前で
す。「先に2倍化ありき」
で、背景にはアメリカや日
本の軍需産業の要求があ
り、トランプ前米大統領に
よって米国製武器や戦闘機
の爆買いをさせられ続け
ています。「アメリカから買
われているのは、ポンコツ
在庫一掃セールです。事故ば
かり起こしているオスプレイ
は軍需企業の売り上げへの協
力であり、F35戦闘機はレ
ダーに映らないため、攻撃さ
れないが、自分で落ちる欠陥
機です」と指摘しました。

支援員と子どもの継続性を保て

原市議

放課後児童クラブの民間委託で質す



これまで市の直営であつた
放課後児童クラブが、この4
月から民間委託になります。
安心して子育てできるまちづ
くりをめざしてきた日本共産
党の原啓司市議は、民間委託
になれば、これまで働いてき
た支援員や補助員の雇用の継

性か、子どもたちの継続
性が保たれるようなかかわり
方を、民間委託になった後も
続けていくと答弁しました。
原議員は、決して民間事業者
任せにせず、働いている市民
の相談体制を構築し、市もし
っかりとかかわって放課後児
童クラブの運営と、さらに安
全・安心の面でやっていくべ
きと提案しました。
日本共産党市議団は、引き
続き運営をチェックをしてい
きたいとしています。

税とインボイス中止が必要で
す」と力を込めました。
「つどい」開会にあたり佐
藤昭子実行委員長は、「私た
ちが、とどまることのない物
価高に苦しんでいるときに岸
田政権は多額の軍事費をつぎ
込み、米国と戦争する国を何
がなんでもつくりうとしてい
ます。来月の統一地方選挙で
『軍事費よりも福祉・医療・
くらしに回せ』の声を大きく
広げていきましょう」とあい
さつ。「季節の春は必ずやっ
てきます。しかし政治の春は
私たちが引き寄せなければや
ってきません。政治に春をよ
ぶ力は、私たちがもっている
1票です。100年の歴史を
もつ共産党の躍進で社会を変
えましょう」と訴えました。

「つどい」には200人の
人数制限をしつとも超えて参
加。ユーモアと諧謔にあふれ
た大門節に会場は笑いの渦
に陥飲を下げていました。

どうすれば暮らしと経済が
良くなるか。大門氏は、賃金
引き上げで景気回復と安心
を、社会保障の拡充、気候危
機打開とジェンダー平等は経
済成長の鍵を握っていると強
調し、「福祉は150兆円も
の大きな経済です。さらにこ
んなときだからこそ消費税減
税とインボイス中止が必要で
す」と力を込めました。

市は民間委託で「柔軟な働
き方」や、人材確保もできる
ようになるとしてきました。
原議員は、「一方ではそれに
よって支援員が一日のなかで
時間単位で変わることから、
子どもたちに落ち着きがなく
なるような状況となり、この
ような体制は決してあつては
ならない」と主張しました。

マイナカード強制になる
健康保険証の
廃止 撤回を
日本共産党

●日本共産党は、トルコとシリアにまたがる大地震で緊急支援募金を受け付けています。

統一地方選挙のお知らせ

- 北海道知事選挙
 - ・投票日 4月9日(日)
 - ・期日前投票期間
 - ◇市役所2階 3月24日(金)～4月8日(土)
 - ◇のぞみコミセン・豊川コミセン 沼ノ端交流センター・勇払出張所 イオンモール2階 4月1日(土)～4月8日(土)
- 北海道議会議員選挙
 - ・投票日 4月9日(日)
 - ・期日前投票期間(各会場共通) 4月1日(土)～4月8日(土)
- 苫小牧市議会議員選挙
 - ・投票日 4月23日(日)
 - ・期日前投票期間(各会場共通) 4月17日(月)～4月22日(土)

※期日前投票の時間は、
市役所は 8:30～20:00
その他の会場は 9:00～20:00



◆信者二世たちの叫び 徹底追及統一協会 赤旗社会部取材班(新日本出版社) 165

ぼんの紹介

◆信者二世たちの叫び 徹底追及統一協会 赤旗社会部取材班(新日本出版社) 165

0円(税込) 政界癒着と反共謀略組織の闇を赤旗統一協会取材班が徹底追及。1960年代から統一協会とたたかっていた日本共産党と赤旗が自民党など政界との癒着と責任を告発。とくに信者二世の苦悩に耳を傾け、これまで見過ごされてきた被害者の困難、被害の実像に迫ります。鈴木エイト氏に聞くも収録。

心イなし 原発・自然エネルギー



判決の意義語る菅澤弁護士

東電福島第一原発事故から12年。「脱原発・自然エネルギー」をすすめる苦小牧の会」は12日、「3・11フクシマを忘れない2023年苦小牧集会」を市民会館で開きました。12回目の開催で60余人参加。北電泊原発廃炉訴訟で昨年泊原発運転差し止めの判決を勝ちとった原告弁護団で事務局長を務める菅澤紀生弁護士が「判決の意義」について講演しました。

泊原発廃炉訴訟は、福島原発事故が起きた11年の11月に提訴。翌12年11月に第二次提訴が行われ、昨年5月31日に結審。判決は一部容認の当事者(原発から半径30km以内に住居する原告44人)との関係で1〜3号機の運転差し止めを命じ、使用済燃料を撤去することと廃炉措置の訴えについては却下しました。谷口哲也裁判長は、泊原発には予想される地震に対する防潮堤が存在せず、国が求める安全基準を満たしていないと判断したのです。原告と被告(北電)双方が控訴し、ようやく今年7月に第1回口頭弁論が開かれます。

菅澤弁護士は今後の運動として、北電の裁判引き延ばし作戦に対してなるべく早期に結審させること、とくに原告44人についての判決を確定させることが必要だと言います。北電側には、泊原発が安全であるという立証責任があります。しかし、泊原発の安全審査について原子力規制委員会が安全に関する新規規制基準に適合しているとしたあとでは、それでも危険であるという立証責任が原告側に生ずるからです。

脱原発の会集会

泊運転差し止め判決で講演

原発反対の世論高めることが重要



生業と暮らしを守るために
インボイス
実施中止を
日本共産党

国会かけある記 いわぶち友です



原発安全神話許さぬ

参院予算委員会
で原発回帰への大転換について質問しました。

東京電力福島第一原発事故について、国会事故調査は、事故の根源的な原因を、規制する側に求められています。事業者の「とりこ」になっていたことだとしています。だから規制する側と推進する側を分けようということで原子力規制委員会が設置されました。そして原発の運転期間は原則40年、例外的に一度だけ延長を可能にするけれども最長60年と決めました。ところが岸田政権は、法律を変えて、これまで規制期間の延長について経産大臣は「厳しい基準で規制委員会が判断する。利用と規制は完全に分けられている」と繰り返し答弁してきましたが、規制委員会の独立性はゆらいでいます。そもそも経産省が運転期間に介入することが大問題。新たな安全神話を許してはなりません。徹底的に論戦していきます。



汚染水放出の撤回迫る(参院予算委15日)

岩淵友(いわぶち・とも) 日本共産党参議院議員